



みなさん、こんにちは。安曇野市議会議員の増田望三郎です。これから年4回の予定で私の議員活動を報告する『安曇野レインボー通信』を発行します。市民のみなさんと市政の間に虹(= Rainbow レインボー)を架け、希望(希望の“望”は望三郎の”望”)あふれる市政にしていきます。

●当選報告と望三郎市議の抱負

市議選の出馬を決めたのが7月30日、最後尾からのスタートでしたが、1,967票もの支持を頂き、25人中9位当選することができました。議会の平均年齢は64歳。私はそれより20歳も若い最年少議員です。若さと移住者の感覚を活かしながら、安曇野市議会に新しい風を吹かせていきたいと思います。



さて安曇野市議会は会派というグループを作っています。その中に全25人の議員のうち15人もの議員からなる市長会派とも言える2つの与党会派があります。本来議会は行政に対して、しっかりとチェック機能を果たすことが役割なのですが、議会の過半数を占めたこの与党会派が市長を全面支持していけば、議会はただの追認機関になってしまいます。ちなみに私はどの会派にも属さない無党派議員です。「1人では何もできない。大きな会派に属しないと、自分のやりたいことがやれていかない」という意見があります。確かに数の力では勝てません。そこで私が思っている2つのことがあります。

一つめは、議員のみなさんと、議会により本質的な議論をしていくことです。議会が建前や会派の都合ではなく、各自の内なる思いや理想を出し合い、会派や党派を超えて、良いことは良い、良くないことは良くない、というコンセンサス(合意形成)をしっかりと取っていきます。数の力で決まる議会ではなく、本質的な議論で決まる議会にしていきたいです。そのためにもまずは議員の皆さん

一人一人としっかりと対話をしていきます。

もう一つは、議会の様子を広く市民のみなさんに発信していくということです。分りやすい言葉で絶えず発信をし、議会や市政に興味関心を持ち続けてもらいます。そして、「えっ、そんなおかしなことがまかり通っているの?」とか、「そうだよな、それはちゃんとやっていて欲しいよね」という市民の声を世論として形成し、議会や市政にいい意味でプレッシャーを与えていきたいと思えます。本当のこと、正しいことを願う皆さんの市民のみなさんに26番目の議員になってもらいたいのです。

対話をし、心を通い合せていくこと。そこから本質を見出し、実践していくこと。そしてそれを発信していくことで、共感を生み出し、人の和(輪)を作っていくこと。これは思えば、私の人生でずっとやってきたことです。謙虚に、粘り強く、そして自分から壁を作らずに相手に飛び込んでやっていきます。みなさんが関心を持って、望三郎の議員活動、ひいては安曇野市の議会や市政を注視し続けてくれることが最大の応援になります。心底納得のいく議員の仕事をしていけるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

具体的に取り組む政治課題

1. 北小倉廃棄物処理施設の問題
(堀金や穂高など下流域にも実害が及ぶ可能性があります。)
2. 子育て世代応援と子どもや若者の応援
私も二人の子どもを育てています。子育て世代の代表として、パパママを応援します。そして何よりも子供や若者が大好きです。一緒に夢を語りましょう!
3. 安曇野の政治を、私たち市民のものに取り戻していきます。開かれた議会、分りやすい議会を目指します。4年後の市議選に共に挑戦する新たな20~40



●増田望三郎のプロフィール
大分県出身、酒の弱い九州男児。気さくな44歳。東京を経由し、安曇野に移住し10年目。三郷小倉の地に妻と2人の子ども、妻の両親の3世代で暮らす。米や野菜などの自給の農業をしながら、出会いと体験の宿『安曇野地球宿(ちきゅうやど)』を経営。2013年10月より安曇野市議。好きな言葉『出会い、共感、展開』

代の市民候補者を生み出します。

●望三郎市議の所属委員会

環境経済委員会に所属しました。市民の暮らしや環境や農業、そして商工業に観光と扱う範囲は広いです。地元北小倉の廃棄物処理施設問題も本委員会ですっきりと議論していきます。

また広報特別委員会の副委員長になりました。議会だよりを発行するのが主な仕事ですが、市民のみなさんが、より読みたくなる内容にしていくこと、またインターネットなどを通じて新たな発信をしていくことも考えています。



●サポーターからの応援メッセージ その1

塚田豊久さん

(望三郎後援会長、地元小倉の果樹農家)

農家として廃棄物処理施設問題を解決したい。初めは悪質業者との戦いだと思っていたが、これは行政の不備が招いた結果だと思う。行政と議会のなれ合いではなく、しっかり筋の通った議会にしてほしい。今までの人間関係ではダメで、望三郎はしがらみのない人間なので期待している。ぜひ新しい風を吹かしてほしい。議会の改革をしてほしい。

●ブログとメルマガの案内

望三郎市議の活動を報告するブログとメールマガジンがあります。

鋭意更新中! ご覧ください。

①増田望三郎市議の議員活動ブログ

<http://bouzaburo.blog.fc2.com/>

②メルマガの登録をしてください

市内在住の方はコチラ→

<http://www.mag2.com/m/0001620106.html>

市外在住の方はコチラ→

<http://www.mag2.com/m/0001620105.html>

年4回行われる議会定例会では、議員自身がテーマを定めて市政に関して方針や執行内容を質す「一般質問」ができます。公の場で行政と直接議論できる一般質問は議員としての最大のやりどころです。12月定例会では望三郎市議は以下の二つのテーマで一般質問を行いました。

《質問 1》 北小倉廃棄物処理業者の河川道 路違法使用に厳正対処を！

選挙でも訴えた北小倉の廃棄物処理施設問題を早速取り上げました。業者車両が施設への搬入出ルートとして鳴沢川の河川敷道路を日常的に使用していますが、これは平成 20 年に市長が法定外公共物管理条例違反である旨を通告しています。その後の市の再三の指導にも業者は一向に改善せず、又そんな業者に市は厳正対応をしています。



質問：これまでの見解通り、市は業者の行為を同条例違反と認識するか？

部長：河川堤防は道路として事実上解放されており、自由使用の範疇^{はんちゆう}。業者には大型車の通行により、公共物である堤防の損傷が危惧されるため指導しているが、現在損傷はしておらず、条例違反とは言えない。

【解説】過去の市長名通告では、損傷した場合だけでなく、損傷のおそれがある行為についても違法としています。現在の大型車両が何台も通行する業者の行為は違法状態であるはずで、今回の部長答弁とかつての市長通告との整合性はどくなるのでしょうか？

質問：市は業者への厳正な対応として、河川敷と業者敷地の境界にポールを立てるべき。

部長：ポール設置は特定の市民を対象とした河川敷利用の妨害行為で市の不法行為責任を追及される恐れがあり、設置は難しい。

今回の一般質問で、業者が安曇野市を相手取り、河川敷の一部土地を業者の所有地とする時効取得の裁判が起きていることが判明しました。該当の業者施設は10年近くも前に解体されているにもかかわらず、自分たちの土地だと主張してくる常軌を逸した業者をこのまま黙認していると、市の財産はどんどん侵されていく可能性があります。この裁判及び業者に対し、市が厳正対処するよう、今後も働きかけていきたいと思っております。

《質問2》 認可外保育所の野外保育園に対して公的支援を



望三郎市議は子育て世代の代表として、子育て支援に取り組みます。その一環として野外保育園※支援を取り上げました。

※自然豊かな里山を舞台にして野外活動を主としたユニークな保育。安曇野には現在3園に54名の子どもたちが通園。認可外のため助成がなく、保育園の安定経営には課題がある。

質問：市長は野外保育園に対し、どのような認識を持ち、支援を考えているか？

市長：子供は次世代を担う宝。活力ある安曇野であり続けるために子供の支援は重要。平成27年から実施の第3子の保育料無料も、認可外保育園に対しても公平な方向付けをする。

質問： 野外保育園の支援は、子育て世代への移住定住促進の有効な施策にならないか？

※ 3園全 49 世帯のうち 41 世帯、約 84%が移住世帯という高い割合。

市長：安曇野の豊かな自然をフィールドとした保育園があることは若い子育て世代にとって魅力であり、移住定住して頂けることは活力を生む。

提案：野外保育が安曇野で始まり 10 年が経つ。人間の健全な成長に子供時代の野外体験は必要であり、その効果を検証するため予算付けされたしかるべき調査を行うべき。その結果をもとに、『里山の自然を生かした野外保育園、それを公

的支援する行政』という安曇野モデルを内外に発信していけないか。

部長：保育についても多様なニーズがある。野外保育を一つのスタイルとして認めるという提案。野外保育園の有効性、実態を調査するのは必要。安曇野市でも来年度「子育て支援会議」を設置しその中で野外保育も十分な検証をしていく。

※今回の一般質問にあたり、くじら雲（明科）、森の子（穂高）、ひかりの子（穂高）の3つの野外保育園の保育者・保護者の方々に多大なご協力を頂き、ありがとうございました。みなさんの野外保育の活動が正しく認知され、公的支援が受けられるよう今後も頑張ります。

望三郎市議が行く!!
第1話
『これが言論の府?!』
出演: 望さんにじと、ピース

そうなんだ! 今日の議題は
特別秘密保護法について、
議員全員で話し合うんだ!

今日は望さんが
楽しみにしている
全員協議会が
9時からあるんだって!
僕たちも傍聴にいくよ!

どんな意見が
飛び交うか
すごく
楽しみなんだ

いざはじめてみると……

えっ!!
たったの1時間で
足りるの??

議長

10時を
メドにしましょう!

傍聴席

意見も出たようなので
これで終わりに
したいと思います。

しーん

A派

決まった人しか
しゃべらないなあ
他の人は何を
考えているんだろう……

まだ発言をしていない議員も
沢山いるので
もっと続けては
どうですか??

キリがないので

話し合いの場なのに
なんでみんなが
しゃべらないんだろうね!?

コレが
言論の府?!
会派拘束?!
まったく……